

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岩手県	北上市	令和2年度～令和6年度	令和2年度～令和6年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量 1 事業所当たりの排出量 生活系 総排出量 1 事業所当たりの排出量 合 計 事業系生活系総排出量合計	t t t kg/人 t	t t t kg/人 t	% % % % %
再生利用量	直接資源化量 総資源化量	t t	t t	% %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 30 年度)	目 標 (令和 6 年度) A	実 績 (令和 6 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	11,411 人 12.4%	10,606 人 12.2%	9,799 人 10.8% 1,148.7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7,550 人 8.2%	8,050 人 9.3%	7,975 人 8.8% 54.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

汚水衛生処理率の向上については、公共下水道処理区域は整備が完了しているため未水洗化世帯の接続と、浄化槽整備区域での合併処理浄化槽への転換を、総合的に推進していく必要がある。それぞれの部門における普及への取り組みが充分でなかったことが、目標達成できなかった要因と考えられる。

集落排水施設は、令和6年度に蔵屋敷地区を公共下水道に接続したため、処理区域内人口が減少し、普及率が目標値を下回った。

合併処理浄化槽は、総人口減少に伴い、合併浄化槽の汚水衛生処理人口が減少したこと。高齢化や水洗化への意欲の低下、物価高による工事費の増加などの要因により転換が進まなかったと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで

浄化槽設置整備補助金の周知を図るためホームページ、広報へのお知らせの掲載、対象者へのチラシの戸別配布を行い目標達成に向け取り組む。

汚水衛生処理率の向上に向け、公共下水道処理区域の未水洗化世帯への接続勧奨の文書も継続して配布していきたい。

(都道府県知事の所見)

目標達成に向けた方策に記載のとおり、公共下水道への接続について未接続世帯への啓発活動を行うこと。

合併処理浄化槽の整備については、整備意欲を高める働きかけを実施するとともに、補助事業の一層の周知・活用を図り、汚水衛生処理率の向上に努めていただきたい。